



公明党
本山 英子
議員

公共の資産管理等について

問 データの一元化の進捗状況はどうか。

答 市長 建築物のリスト表の作成が完成したことを報告します。

今後は、建物の用途、床面積、構造等により、保全対象となる建築物をこの中から選定し、公共施設保全情報システムへ建物の詳細情報を関係各課の協力を得て、入力作業を進めていきたいと思えます。

問 作業の中心となる資産管理経営室の役割は大きく、ファシリテイマゼメントの1つの特徴である「おのの部署で管理されていた情報を1カ所に集約し、横串で総合的に管理できる

体制を進める」ということを、いつ、どう実行に移すのか。

答 総務部長 公共施設等総合管理計画の策定時には、関係各課との協力体制を整え、策定事務を進めていきたいと考えています。

問 固定資産台帳のデータ化の活用により、市にとって有益かつ緻密な把握・分析をしていくことが大事と考えるがどうか。

答 総務部長 本市は固定資産台帳のデータ化は先進的に取り組んでおり、今後の活用方法は、個別の行政評価や予算編成、また公共施設の老朽化対策等に係る資産

交付要綱改正後の概要はどうか。

問 経済環境部長 現在、市で浄水器設置補助金等の交付要綱を設けて、地下水の汚染を確認された区域の住民の健康を保持するため、浄水器を購入する方に、購入費及び設置並びに設置後の水質検査に要する費用、10万円を限度とし、2分の1に相当する額を交付するものとす。

いる主要道に位置づけられているところであれば、まずこれを活用していただくということ、しかしながら、地下水の水質基準が13品目の水準を超えている状況であれば、相談するという形で進めさせていただきます。

問 水道事業の時に市に住んでいなかった方は、水道引き込みに多額の費用がかかる。浄水器を選択できるようにしてはどうか。



答 経済環境部長 第一に、広域水道企業団の上水道の配管が敷設されて

山武市浄水器設置費補助金について

管理の活用が期待され、大事なものであると考えています。

公共施設の看板について

問 現在、公共の建物で、道路から施設がわかる看板の設置のないところはあるか。

答 総務部長 10月にオープンをした松尾交流センター洗心館につきましては、国道126号線からの案内が足りないように感じます。現在設置に向け、作業を進め

ているところです。

問 サンプスギを使った公共施設の看板に統一していったらどうか。

答 市長 地域の産品でありますサンプスギを皆さんに知っていただくために、できるだけそういった形にしていきたいと思っています。



サンプスギで作ったあららぎ館の看板